

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「みよたかるた」グッズ作成 & みんなの愛あーる(Integrated Report)サイト制作事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人信州御代田ハピネスプロジェクト
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,438,745 円 (うち支援金：1,079,000 円)

事業内容

28年度に制作した「みよたかるた」について、3つのアプローチで更なる町民への浸透を目指した。

①ポスターとクリアフォルダーを制作。クリアフォルダーは、小中学生に配布した。子どもたちの学校生活に役立つグッズを制作することで、恒常的視覚に入り、記憶に残るように仕掛けた。ポスターは町の主要施設や学校、店舗に配布。いずれも入り口付近の目立つ場所に貼って頂き、常に視界に入る環境を作った。

②「みよたかるた」専用のホームページを制作。みよたかるた題材について、より詳しい情報を掲載するようにした。情報の寄稿は誰にでもできるようにし、みんなの写真や情報で作られるサイトを目指した。

③定期的な「みよたかるた大会」の開催



【新年かるたとり大会】

【目標・ねらい】

- ①「みよたかるた」の存在が常に視覚に入る状態をつくる
- ②28年度に続き「みんなで作ることで、町に対する愛着を育てることを目指した
- ③御代田町の素晴らしさを、かるた遊びを通して再確認する場をつくる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①③小、中学生がクリアフォルダーを喜んで使っている様子を多く聞く。クリアフォルダーを見ながら、句や絵札を暗記している子供もたくさんいた。「小学校の文化祭で、かるた大会を開催したい」というお声掛けを頂き、子どもたちへの認知とともに、徐々に参加者も増えてきている。中学校の校長も大会に参加してくださるほど関心は高まっている。アンケートでは、回答者全員が「とても楽しかった(最高位)」をつける結果となった。今まで無かった小学校の町内施設の利用(縄文ミュージアムやカーリングホール)なども見受けられた。町内行事も含め、改めて自町への関心が高まったのではないかと推察する。

②レポート回収数は締切り当初は芳しくなかったが、その後も継続的に写真や情報が寄せられており、今後も続きそうだ。ホームページへの訪問者のログを取ることで、「町のどのようなことに興味があるのか」を知ることができるようになった。今後戦略的にこのデータを使うことができ、想定外の効果が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・引き続き「みよたかるた大会」の開催を定期的に行う。
- ・今回制作した「みよたかるた」のホームページの情報を更に充実させ、町内外に御代田町の魅力をアピールできる情報源として育てたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【A】

【理由】
クリアフォルダーやポスターで句や絵札を暗記する子供が増えた。町内施設への興味が高まり、学校での利用が複数あった。ホームページのログ分析が、町への関心を調査することに役に立つ。